

「食育・地産地消に関するアンケート」結果報告書

令和7年7月10日（木）から8月8日（金）に実施した「食育・地産地消に関するアンケート」の結果について報告します。

実施部署：農林水産部 農業政策課

調査目的：今後、地元の農林水産物の利用及び消費拡大を促進させていくため

調査対象：市内居住者

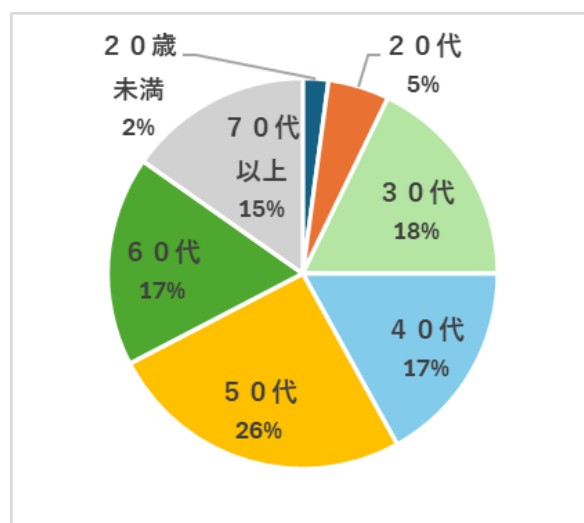
調査期間：令和7年7月10日（木）～8月8日（金）

調査方法：インターネット調査（eまちアンケート）

調査結果の回答状況：回答数236件

【1】現在の年齢を教えてください。

項目	人数	割合
20歳未満	5	2%
20代	12	5%
30代	42	18%
40代	40	17%
50代	60	26%
60代	41	17%
70代以上	36	15%



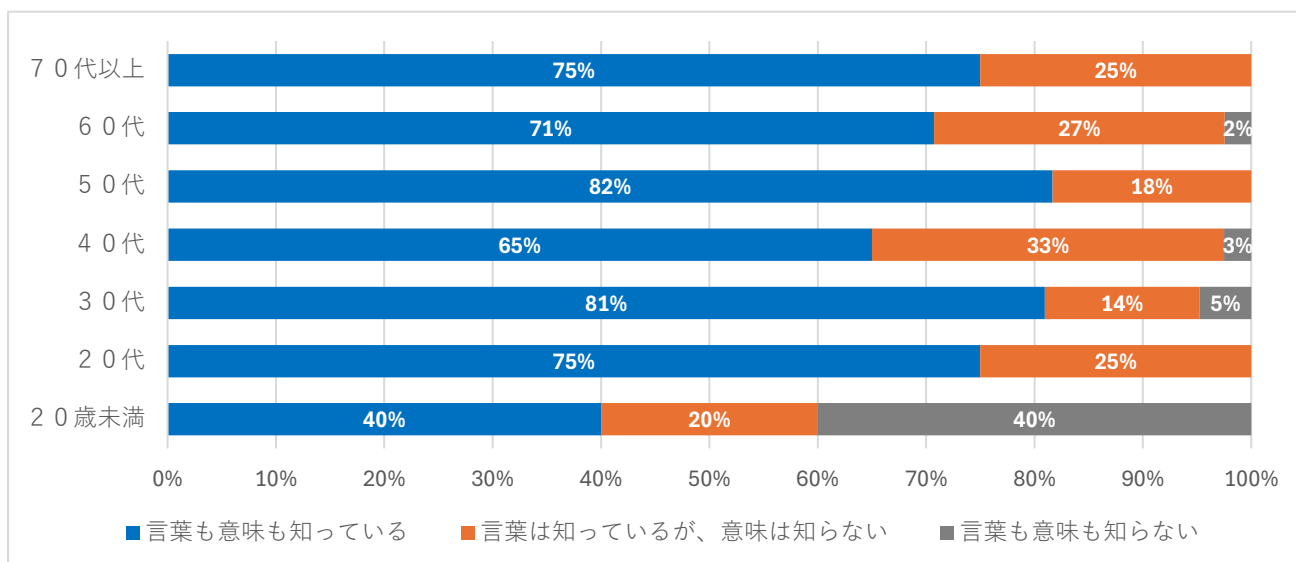
【2】「食育」という言葉やその意味を知っていますか。

全体

項目	人数	割合
言葉も意味も知っている	176	75%
言葉は知っているが、意味は知らない	54	23%
言葉も意味も知らない	6	2%

※割合（%）は回答数236件に対する割合

年代別



・全体でみると、「言葉も意味も知っている」方が75%でした。次いで、「言葉は知っているが、意味は知らない」方が23%、「言葉も意味も知らない」方が2%でした。

・年代別でみると、「言葉も意味も知っている」の割合は20代以上で高い傾向があります。

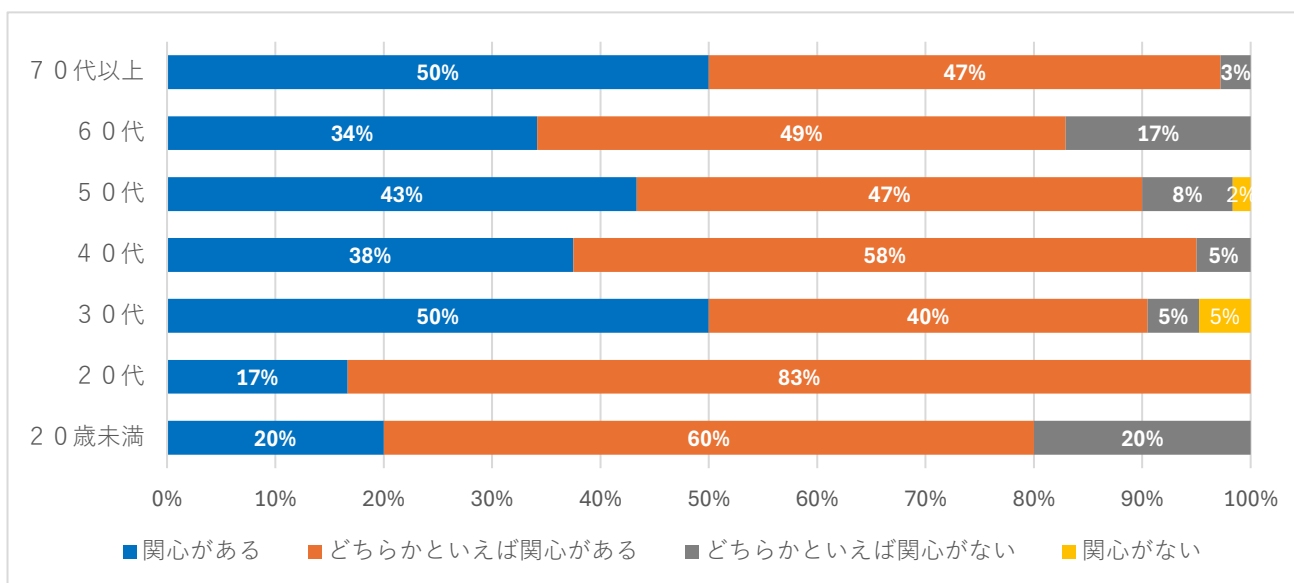
【3】「食育」に関心がありますか。

全体

項目	人数	割合
関心がある	97	41%
どちらかといえば関心がある	118	50%
どちらかといえば関心がない	18	8%
関心がない	3	1%

※割合（%）は回答数236件に対する割合

年代別



- ・全体でみると、「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と回答した方は91%でした。
- ・どの年代でも「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と答える割合は8割以上であり、すべての年代で食育に関心があることが伺えます。

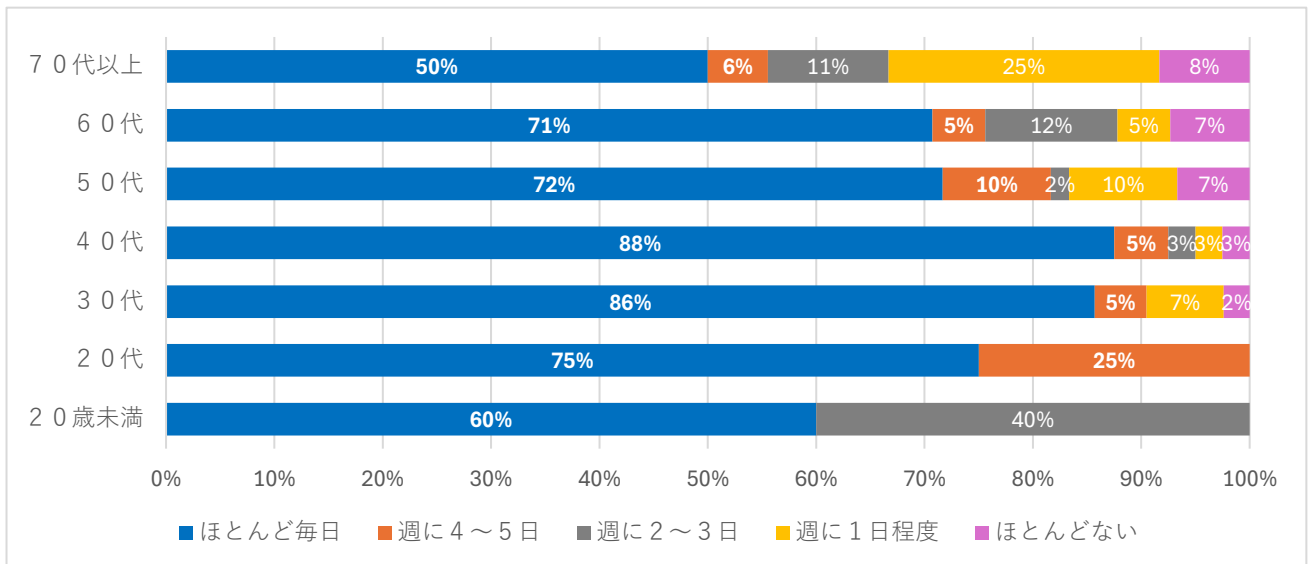
【4】家族や友人、地域などで、どなたかと食事を共にする機会はどのくらいありますか。

全体

項目	人数	割合
ほとんど毎日	173	73%
週に4～5日	17	7%
週に2～3日	13	6%
週に1日程度	21	9%
ほとんどない	12	5%

※割合（%）は回答数236件に対する割合

年代別



・「ほとんど毎日」、誰かと食事を共にする人は73%でした。

・子育て世代は、「ほとんど毎日」誰かと食事を共にする割合が高く、年代が上がるにつれて低くなる傾向があります。

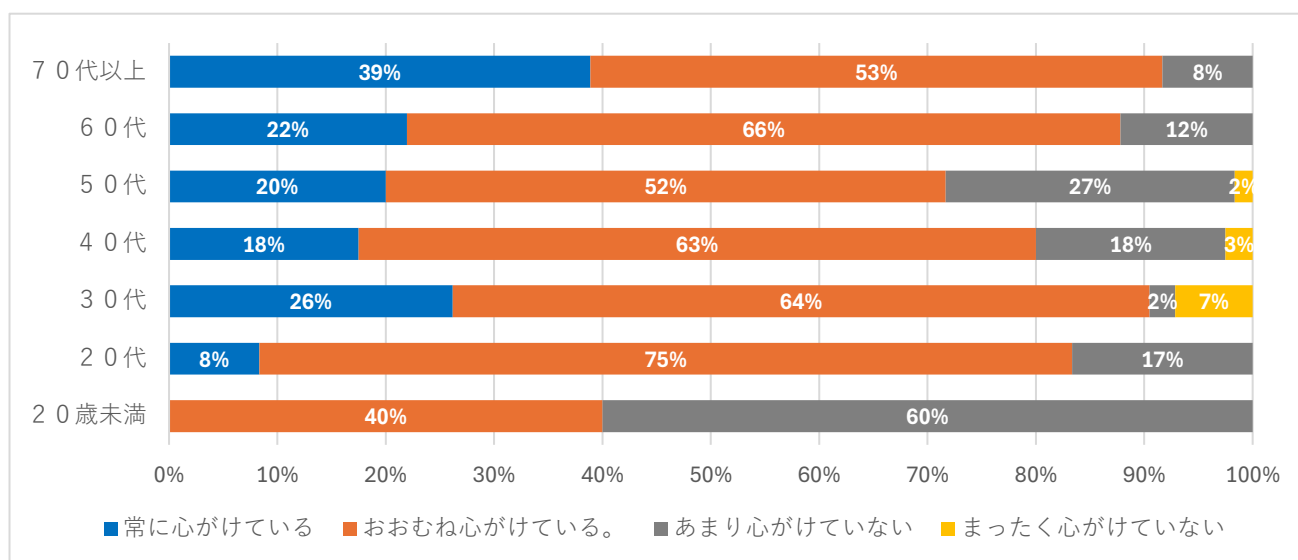
【5】日々の食生活において「主食」、「主菜」、「副菜」を基本とした食事のバランスを心がけていますか。

全体

項目	人数	割合
常に心がけている	54	23%
おおむね心がけている	140	59%
あまり心がけていない	37	16%
まったく心がけていない	5	2%

※割合（％）は回答数236件に対する割合

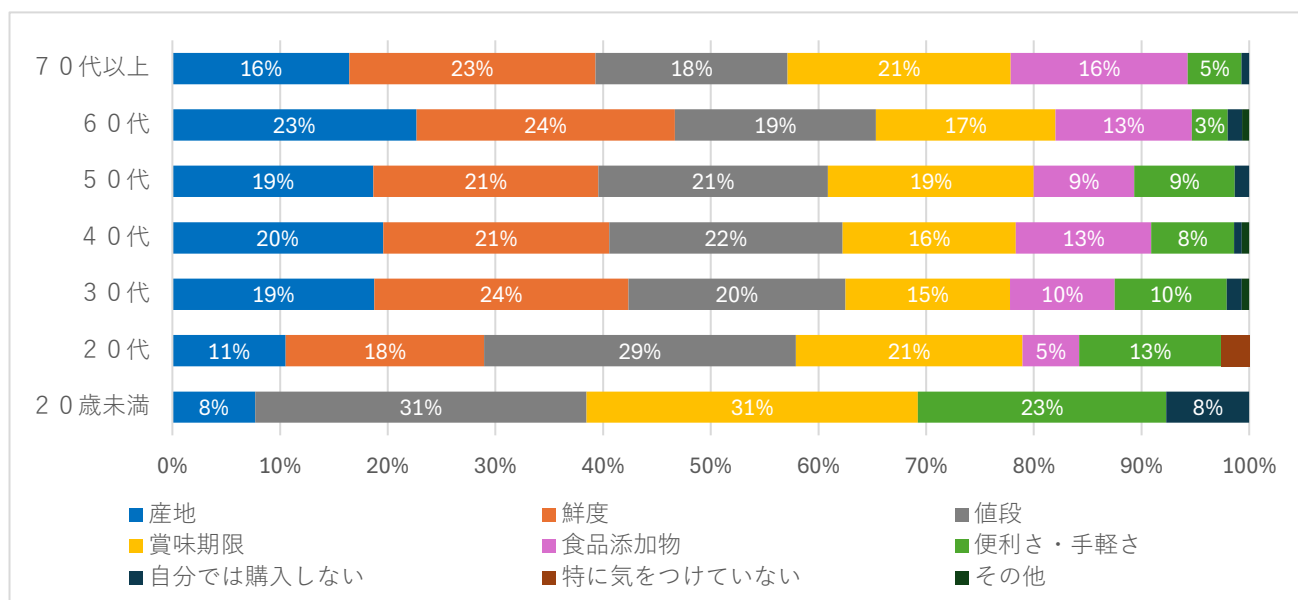
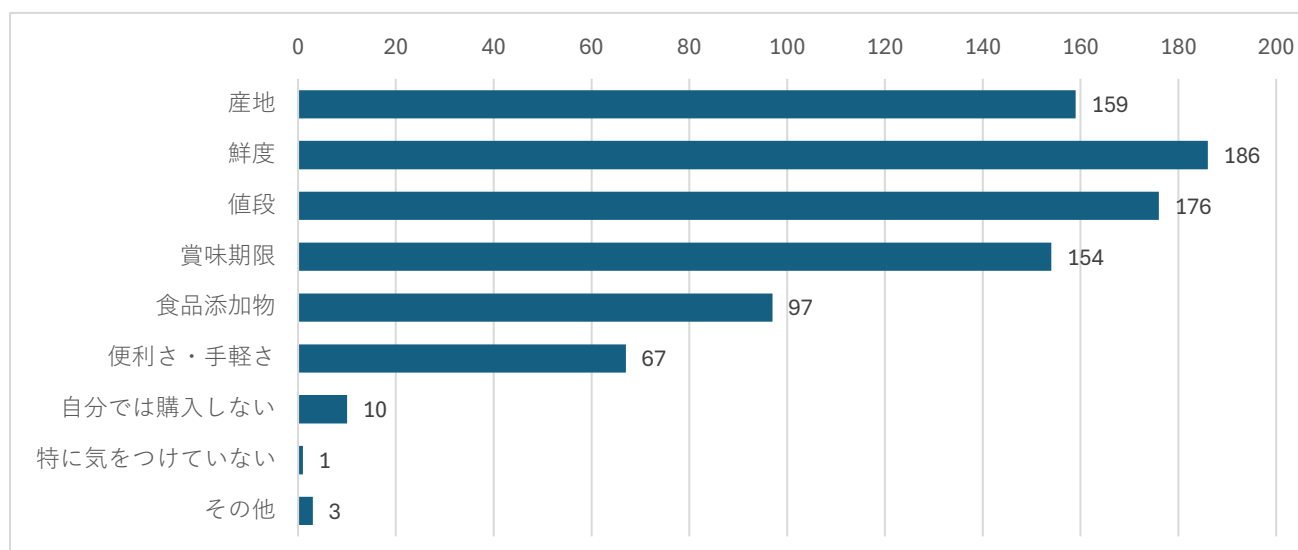
年代別



・食事のバランスを「常に心がけている」割合は23%で、「おおむね心がけている」割合59%を含めると、食事のバランスを心がけている割合は合計82%でした。

・年代が高くなるにつれて、食事のバランス意識が高くなる傾向があります。

【6】食品を購入する際に安全・安心な食材を選ぶために気をつけていることはありますか。（複数選択可）



○その他の回答

- ・栄養素
- ・旬のものを選ぶ
- ・内容量

・「鮮度」が一番多く、次に「値段」「産地」「賞味期限」と続きました。

・30代以上では、おおむね似たような比率となっていました。

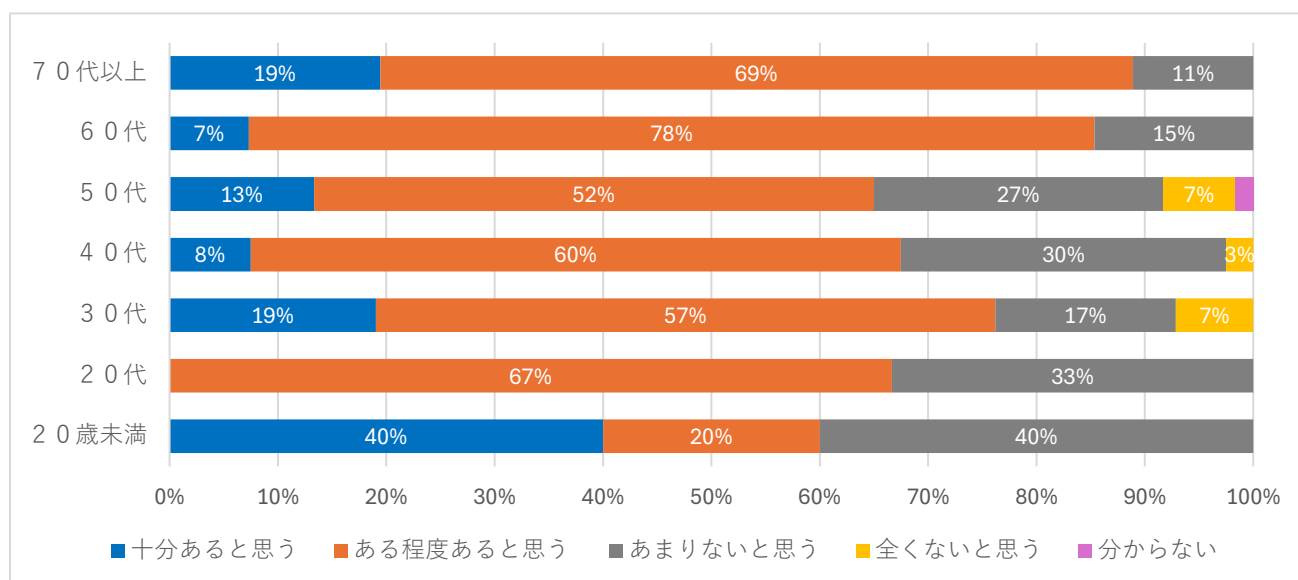
【7】あなたは健康を維持増進するため、どのような食品を選択すると良いかや、どのような調理が必要かについての知識（食品の安全性に関する知識）があると思いますか。

全体

項目	人数	割合
十分あると思う	31	13%
ある程度あると思う	145	61%
あまりないと思う	51	22%
全くないと思う	8	3%
分からない	1	1%

※割合（%）は回答数236件に対する割合

年代別



・「十分あると思う」、「ある程度あると思う」と答えた人は合計74%でした。

・「十分あると思う」、「ある程度あると思う」と答える割合はどの世代でも50%以上であり、特に60代以上では80%を超えています。

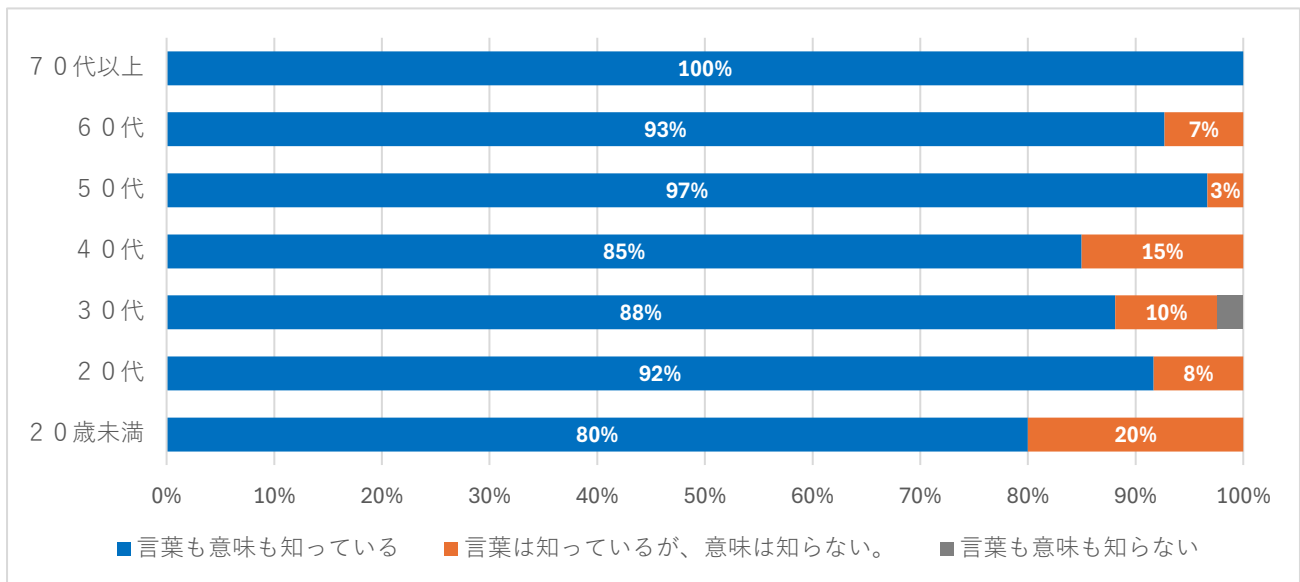
【8】「地産地消」という言葉やその意味を知っていますか。

全体

項目	人数	割合
言葉も意味も知っている	218	92%
言葉は知っているが、意味は知らない。	17	7%
言葉も意味も知らない	1	1%

※割合（%）は回答数236件に対する割合

年代別



- ・「言葉も意味も知っている」と答えた人は92%でした。
- ・どの年代でも知っている割合は高く、「地産地消」が認知されていることが伺えます。

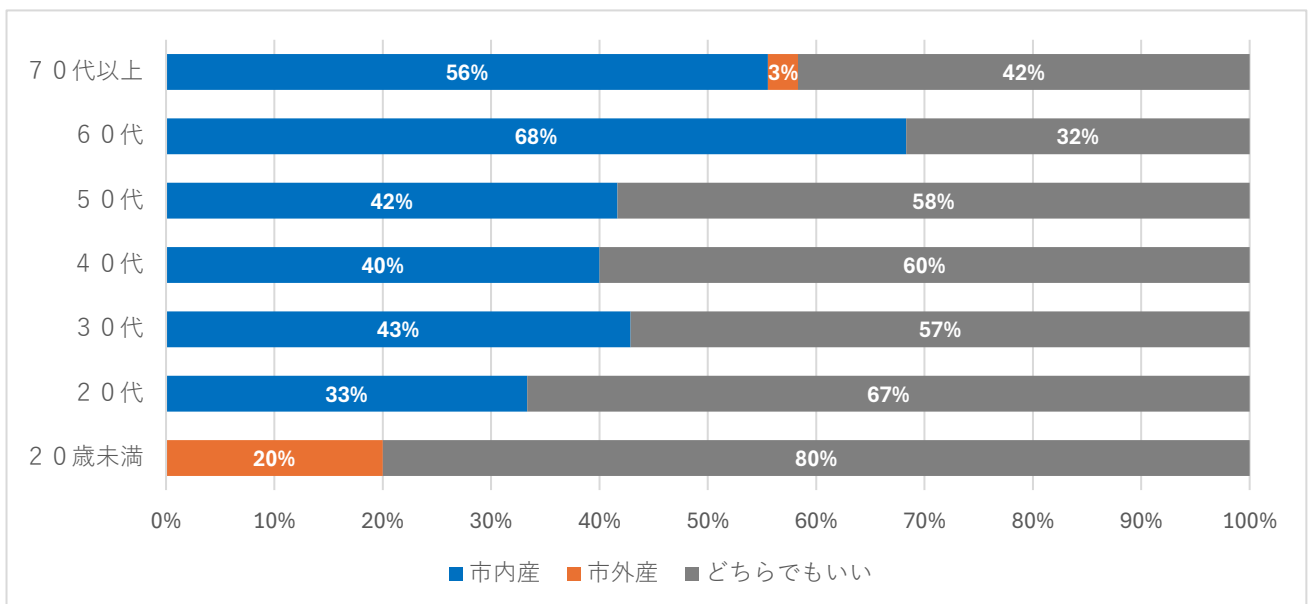
【9】食品を購入する際、市内産と市外産、どちらを選びますか。

全体

項目	人数	割合
市内産	111	47%
市外産	2	1%
どちらでもいい	123	52%

※割合（%）は回答数236件に対する割合

年代別



- ・「市内産」を選ぶと答えた方は47%でした。
- ・60代以上で「市内産」を選ぶ割合は上がる傾向があります。

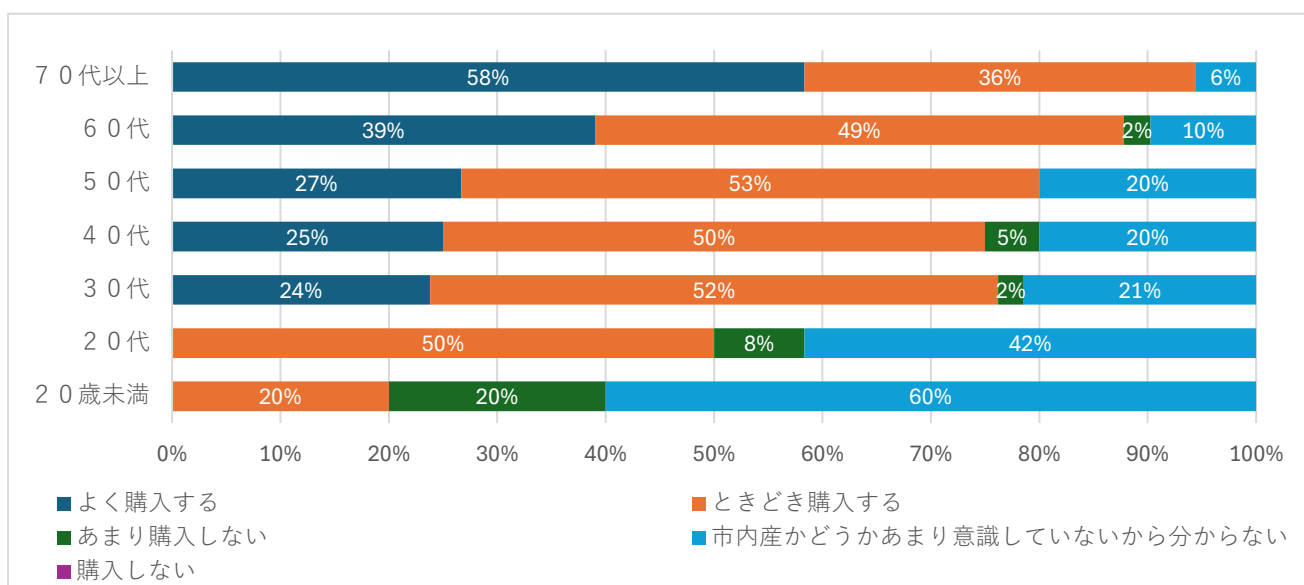
【10】市内産を購入する頻度を教えてください。

全体

項目	人数	割合
よく購入する	73	31%
ときどき購入する	114	48%
あまり購入しない	6	3%
市内産かどうかあまり意識していないから分からない	43	18%

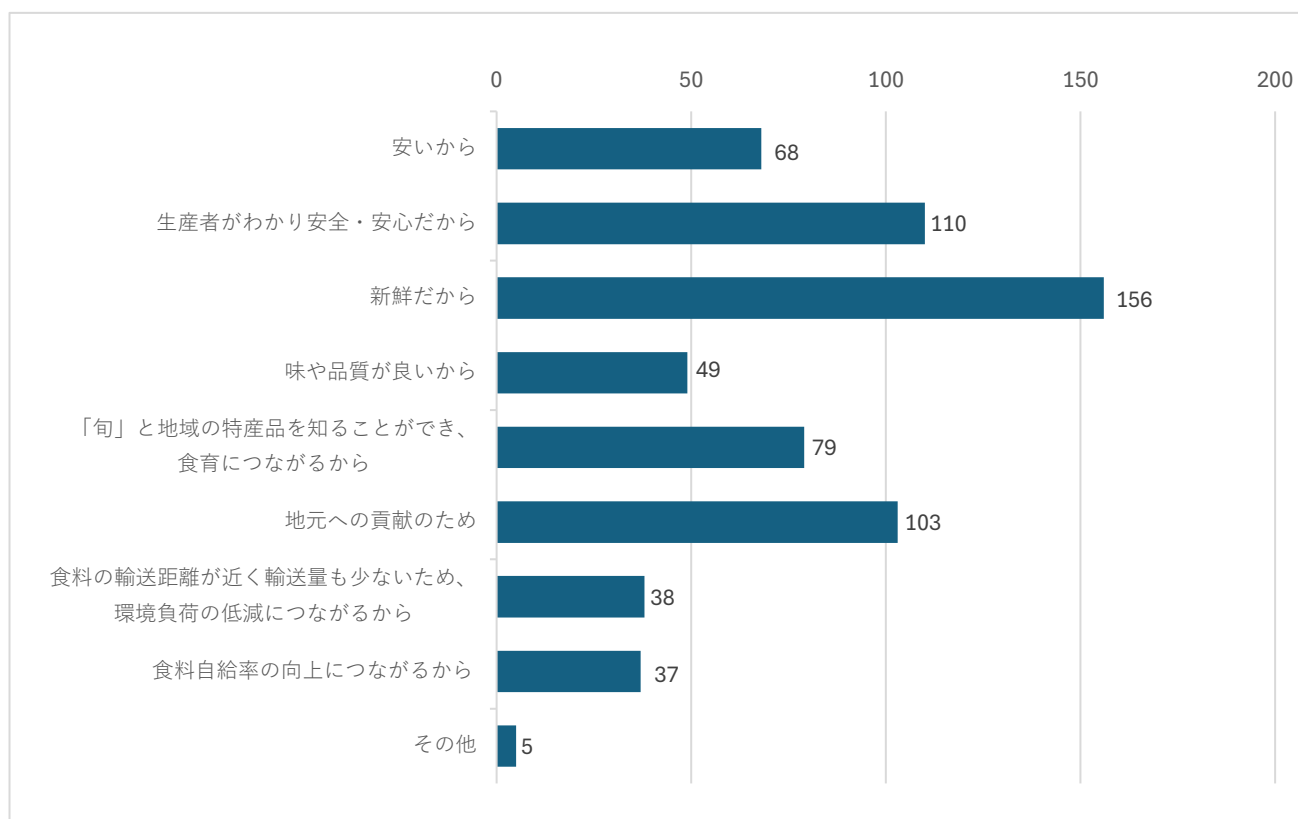
※割合（％）は回答数236件に対する割合

年代別



- ・市内産の購入割合は、「ときどき購入する」の48%が最も高く、「よく購入する」の31%を加えると、79%と高い割合です。
- ・年代別でみると、「よく購入する」は、年代が上がるにつれて割合が高くなります。

【11】【10】で「よく購入する」、「ときどき購入する」と答えた方、市内産の農林水産物を購入する理由を教えてください。（複数選択可）



○ その他の回答

- ・畑からの時間的距離が近いから。
- ・欲しいものが並んでいて、価格が安い時。
- ・地元の農家さんを応援したいから。
- ・市内というより、その物がよければ購入します。

・「新鮮だから」が一番多く、次に「生産者がわかり、安心安全だから」「地元への貢献のため」と続きました。

・【6】の安心・安全のために気をつけていることと同様、新鮮さや鮮度が理由となっています。

【12】「食育」及び「地産地消」を促進していくために必要だと思うこと、実施してほしい取り組みがあれば教えてください。

○売り場の拡大等

- ・市の公共の場で常設店を運営して欲しい。
- ・薩摩川内市の道の駅を増やして欲しい。
- ・スーパーの隅に地元の生産者の方が出している一角がありますが、生産者のお店があれば嬉しい。
- ・コンビニに地域の米、野菜を置くようにする。
- ・売り場を広くする。
- ・市内商業施設と連携して地産地消コーナーを設ける。(今もあるが周知のため増やす)
- ・歩いて行ける距離に無人販売所などがあれば、車を持っていない人やお年寄りも買いに行きやすいと思う。地元の農産物の消費が少しでも増えるのではないかな。
- ・市内産の野菜の販売する店舗を増やす必要を感じている。ドラッグストアに少量の野菜を置いてあるが、市内産の品物を置いてもらう取り組みを行って欲しい。

○生産者等

- ・農業者の安定した収入。
- ・各店舗の地元産商品の売場の確保するための支援を行い、生産者が気軽に持ち込める雰囲気を作ってもらいたい。
- ・生産者のおすすめの食べ方を知りたい。
- ・生産者の顔写真や一言メッセージがあつたら、買いやすい。
- ・休耕田や使われていない畑を再利用するなど、住民と取り組める施策があればと思う。

○教育、給食等

- ・気楽に参加しやすい勉強会の開催。
- ・地区コミュニティセンターなどに講習に出向いてほしい。
- ・地元の食材を使った給食。
- ・食育の子ども向けや親子での料理教室。
- ・子どもたちの給食に取り入れる。
- ・学校で栄養教諭の講話を聞くだけでなく、生産者の話を聞く機会を作れば、より食べ物への興味も湧くように思う。
- ・地元産品を使った、食生活改善推進員の方々の講習が手軽に受けられる機会が欲しい。(休日とか)
- ・食育講座の開催、食育インストラクターの養成講座の開催。

○イベント、農業体験等

- ・ 農業体験や生産者との交流イベントの実施。
- ・ 保育園、幼稚園での土と触れ合うイベント(運動会等で土の中の宝探しとか)。
- ・ 子育て支援センターで、食育のプログラムはいつも満員なので開催頻度を増やしてほしい。
- ・ 薩摩川内市内の飲食店で、地元の食材を利用したら、特典をもらえるようにする。
- ・ 夏休み中、子供たちが買い物に行くと特典や収穫体験など気軽に生産者と交流できるといいと思う。
- ・ 地産地消のみで作る、離乳食講座。
- ・ 誰でも自由に参加できる食育の講演会や地産地消の販売のイベントなどがあると参加してみたい。
- ・ 食について活動している、組織、個人とともに、地区コミュニティセンター等で幼い頃から、食の大切さを学習して欲しい。
- ・ 薩摩川内市の特産品での調理方法や、料理を紹介するイベント(料理教室、フードフェス)が定期的にあるといいなと思う。

○情報発信等

- ・ 家庭で取り組めることを広報紙、ホームページやLINE 等に掲載する。
- ・ SNS で情報発信も良いと思うが、テレビ等のメディアに情報発信することが重要だと思う。特に高齢者は SNS 等はなかなか扱いにくいし、触れる機会も少ないと思うので。
- ・ 薩摩川内市が取り組んでいる「食育」及び「地産地消」について広報してほしい。
- ・ 一時的な企画ではなく、広報紙やホームページに「食育」「地産地消」専用コーナーを設けて継続的に発信する。
- ・ 食育の実践をしている方へのインタビューを広報紙で紹介。
- ・ 地元の農家の方に作物を作る上での苦労や食材のアレンジレシピなどの紹介の記事。
- ・ 生産地、生産量、出荷量、販売時期、販売所のマップなどを広報紙で紹介する。
- ・ 季節ごとの地元食材を紹介するイベントや特集。
- ・ 広報紙で市内産食材を使ったレシピや郷土料理の紹介をする。
- ・ 無人販売マップのようなものがあれば嬉しい。
- ・ 誰もが一目で分かるような統一されたラベルシールなどが付いていたら、購入側も一目瞭然で分かりやすくまた市外の方への薩摩川内アピールにも繋がる良いきっかけになると思う。

「食育・地産地消に関するアンケート」では、たくさんの回答・御意見をいただきました。いただいた御意見の中で、同様の内容はまとめて記載させていただいておりますのでご了承ください。

回答いただいた内容につきましては、貴重な御意見として、今後の本市の農林水産物の利用及び消費拡大を促進させていく上での参考とさせていただきます。

ご協力、誠にありがとうございました。